

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	36	学 校 名	静岡県立静岡東高等学校	校 長 名	大野 達雄
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

卒業後多くが大学等に進学する静岡地区の文武両道の学校として、生徒一人ひとりの可能性を広げる個に応じた手厚い教育を通じて、自分に負けず、明日を拓き、主体的に社会を作っていこうとする人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
・「自分を知る（自己理解）」 自分を正しく見つめ、幅広い教養と多角的論理的な思考力を身につけ、粘り強く、豊かな人間性を育む。 ・「自分を変える（自己変革）」 高みを目指し、仲間と試行錯誤して、未知の物事に挑戦するための意志や創造力を育む。 ・「自分を超越（社会貢献）」 視野を広げて、地域や社会の課題解決に力を尽くす態度や能力を育む。	・柔軟かつ多様な教育活動を実践し、未来の社会に対応できる総合力を育む。 ・互いを尊重し、ともに真理と正義を希求する学習活動をとおして、豊かな人間性と創造性を育む。 カリキュラム・ポリシーの補完：「育成を目指す具体的な資質能力（3 観点別）」 ・知識・技能 →幅広い教養、真理を追求する力 ・思考力・判断力・表現力 →課題設定力、課題解決力、発信力 ・学びに向かう力 →継続力、メタ認知能力、レジリエンス、協働力、リーダーシップ、チャレンジ精神	・基本的な学習習慣が確立され、主として大学進学を目指し、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒。 ・部活動、学校行事、生徒会活動、校外活動等に積極的に取り組んだ経験を活かし、入学後も様々な活動に参加し自分を高めようする生徒。 ・学校や社会の規範を守り他者と協働して、生徒実行目標「自分に負けるな」を自己の学校生活に具現化できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために組織的な授業改善に取り組み、確かな学力を育成する。
- イ 外部人材の活用や高大連携をとおして生徒のキャリア発達を支援し、高い志を持ち、進路目標に挑戦しようとする態度を育成する。
- ウ 授業、部活動、学校行事をとおして、目標に向けた自己調整力や、多様な人々と協働しながら課題を解決する力を育成する。
- エ 心身の健康促進を図り、災害・事故・病気等から命を守り、自他を尊重する精神を育成する。
- オ 広報活動の充実に取り組み、中学生とその保護者、地域住民や市民に、様々な教育活動や生徒が活躍する姿を周知する。
- カ 職員相互の意思疎通や連携を大切にした職場環境を整備し、生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう働き方改革を進める。
- キ 県教育委員会と連携し、新校舎建築に係る業務を円滑に進めるとともに、工事期間中の安全で快適な学校生活を整備する。
- ク 時代の要請に応えるとともに、持続可能な教育活動を推進する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善と確かな学力の向上	主体的・対話的で深い学び、観点別学習状況の評価、ICT活用等の研修、教員相互の授業参観、生徒による授業評価の分析等を行い、指導と評価の一体的改善を推進する。	・教員の授業参観年3回以上 100% ・「授業をとおして新たな見方・考え方や知識・技能を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数 5人以上	教務課 研修課 情報管理課 教科
		高校生のための学びの基礎診断・各種模試等の結果分析、学習時間調査等をふまえた組織的で計画的な学習指導と、個に応じた学習指導を行うことで学力の向上を図る。	・1・2年家庭学習時間：平日1日平均最低 90分、目標3時間以上 ・学びの基礎診断（ベネッセ総合学力テスト等）の結果分析に基づく授業改善及び個々の課題克服に向けた学習指導の実践 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・大学入学共通テスト平均点全国平均＋5%以上 ・学習支援プラットフォーム（C-learning、ロイロノート等）の学習指導への活用 ・CEFR B1 レベル 60人以上 A2 レベル 500人以上	進路指導課 学年部 教科
		学習指導要領に基づいた指導体制の確立と大学入学共通テストに求められる資質能力を育成する。	・新教育課程・共通テストに対応する学習指導 ・3年間を見通した進路指導計画の検証と改善	教務課 進路指導課 学年部 教科
		「東陵セミナー」及び各教科の探究的な学習をとおして生徒の知的好奇心を高め、社会問題解決に関わろうとする意識を高める。	・「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」 80%以上	探究活動 推進課 学年部 教科
		授業をより一層充実させるとともに、週テストなどを活用して知識・技能の定着を図る。	・授業への取組状況・姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」 70%以上	教科
		ICT 環境を整備し、情報機器やクラウドサービス等を活用した学びを推進する。	・授業や探究学習での ICT 活用の推進 ・協働的な学びをすすめるための個別最適な学びにおける ICT 活用の推進	教務課 情報管理課 探究活動 推進課 各教科
イ	志の育成と進路目標への挑戦	進路行事や高大連携による講座等への参加をとおして、より高い志の育成を図る。組織的できめ細かな進路指導により、主体的な進路選択ができる力を育み、進路目標の実現につなげる。	・大学模擬授業生徒満足度 90%以上 ・大学訪問生徒各自の目標達成率 100%（オンライン説明会参加も含む） ・大学入学共通テスト5教科型受験率 80%以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各 30人以上 ・県内国公立大学合格者数 60人以上 ・国公立大学現役合格者数 卒業生の50%以上 ・難関国公立大学（※1）合格者数 10人以上 ・難関私立大学（※2）合格者数 90人以上	進路指導課 学年部
			・静岡大学・静岡県立大学・常葉大学との連携の有効活用 ・静岡大学理系実験講座参加者数 20人以上 満足度 90%以上 ・「専門教養講座」の単位取得者 5人以上 ・SDGs Terakoya 参加者数 20人以上 満足度 90%	教務課 探究活動 推進課 ※3

			以上	
			・生徒個人面談回数 年間 5 回以上	教務課
			・多様化する入試制度についての研究	進路指導課
		東陵セミナーを軸として授業・特別活動・部活動についてカリキュラム・マネジメントに努めることで、カリキュラム・ポリシーに掲げる資質能力を育成する。	・修学旅行生徒満足度 90%以上 ・SDGs 等に関する外部コンテスト・プレゼンテーション大会に参加する生徒 30 人以上	2 年部 探究推進課
ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	部活動や学校行事等の特別活動をとおして、メリハリのある生活習慣や目標に向けて主体的に取り組む態度、他者と協働する力を育成する。	・遅刻生徒数 1 日平均全校で 5 人以下	教務課 学年部
			・特別活動の活性化と生徒主体の運営力の育成 ・東陵祭生徒満足度 80%以上 ・「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90%以上 ・各部活動の目標達成率 80%以上 ・部活動活動時間と下校時刻の順守	生徒指導課
		モラルと品位のある生活態度と人権感覚を涵養する。	・情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0 件	学年部 生徒指導課 ※ 4
		文化教室・読書指導等をとおして豊かな感性を育成する。	・文化教室生徒満足度 80%以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数 12,000 冊以上 ・図書館利用のない生徒への働き掛けの工夫	図書課
エ	心身の健康と命を守る教育の推進	交通安全指導を充実させることで交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。	・生徒交通事故件数 10 件以下 ・重大な生徒交通事故件数 0 件 ・自転車指導警告カードの交付を受けた生徒への指導 ・交通安全街頭指導への保護者参加	生徒指導課
		保健教育と教育相談機能を充実させることで、健康で心身の調和が取れ、レジリエンスが高い生徒を育成する。	・「ほけんだより」の発行回数 5 回以上と発行方法の工夫 ・思春期講座、熱中症対策等の保健教育（集団指導）の実施	保健課
			・グループエンカウンター（1 年生）の実施 ・セラ・プラスの実施と活用 全学年 ・相談室連絡会の定期開催により、情報や課題の共有及び保護者・生徒への適切な支援の実施 ・丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員や SC との情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施 ・特別支援学校のセンター的機能の活用	教育相談課 学年部
		災害時の備えを充実させ、防災・減災意識を育成する。	・防災倉庫内の食料、備品等の確認 年 1 回以上 ・防災訓練の計画的な実施 年 2 回以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施	総務課
		保護者との連携により、生徒の健やかな成長を支援する。	・「心の教育」への保護者参加 55%以上 ・学年保護者会への保護者参加 80%以上 ・東陵室ボランティアへの保護者協力	総務課 学年部
オ	積極的な広報活動	学校公開や学校説明会、合同進学相談会、中学校での進路学習講座への協力をとおして、本校の特色や生徒の成長を積極的に発信する。	・土曜公開来校者数 延べ 1,600 人以上 ・土曜公開来校者満足度 90%以上	管理職
			・土曜公開に向けての校内美化点検の実施	保健課
			・学校ホームページやソーシャルメディアでのタ	情報管理課 部活動

			イムリーな情報発信と週2回以上の更新 ・学校ホームページやソーシャルメディアでの各部活動の活動報告 学期1回以上	
カ	業務改善と働きやすい職場づくり	学校の窓口として、常に丁寧な対応を心掛け、来客や外部からの問い合わせ等に速やかに対応する。	・事務室窓口へのクレーム件数 0件	事務室
		施設・設備・物品の環境整備について、いち早く危険箇所や不具合を発見し、速やかに対応する。	・施設設備等の不具合による事故 0件	
		不要品の処分や整理整頓・清掃により、職場を働きやすい環境へ整える。	・保健室や職員室の共用スペース等の片付け ・校舎建築・移転に向けて、計画的に不要品の処分と整理	保健課 管理職
		不祥事根絶研修により、コンプライアンス意識を高め、教職員の協働・連携体制を整える。	・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・コンプライアンス通信を利用した研修の実施 ・Google アカウント等を利用した情報共有と意見交換の実施	管理職 運営委員 全職員
		ICT やクラウドサービスを活用した業務改善に取り組み、教職員の多忙化を解消する。	・校務分掌や部活動における校務整理 ・各種調査、教材研究等における ICT の積極的活用と校務の効率化	管理職 情報管理課
キ	仮設校舎の運用と新校舎建築に関わる業務の遂行	教育の質を維持するため、仮設校舎の運用及び新校舎の基本設計について検討を重ねる。	・仮設校舎の運用及び新校舎（施設設備配置、諸室配置等）についての情報共有及びそれに対する意見や要望の集約 ・県教育委員会や施設管理担当部署への意見や要望の伝達と情報交換 ・教育の質を維持するための施設等の使用計画の検討及び作成	管理職 事務室 ※5
			・仮設校舎の清掃の徹底と快適な学びの空間の創出	保健課
ク	時代の要請に応える教育の推進	探究的な学習及び教科横断的な学習をとおして、地域や社会の諸課題を見出し解決しようとする態度を育成する。	・外部専門機関や地域との連携による探究的学習の充実と持続可能な形での実施方法の検討 ・静岡県立大学との連携による探究的学習への参加者数（SDGs 相談会等） 延べ30人以上	探究活動 推進課 教科

※1 北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京科学、一橋、神戸、医学部医学科

※2 早稲田、慶応、上智、ICU、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、関西、関西学院、同志社、立命館

※3 理系高大連携推進委員会

※4 いじめ防止対策委員会

※5 校舎建替ワーキンググループ、校舎建替検討委員会